

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	技能功労者表彰事業			事業コード	0531
担当課等	所属名 商工観光部 企業立地雇用課			担当係名	
課長名	商工観光部 企業立地雇用課	担当者名	阿部 牧子	電話番号	3772

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進	コード 5
	基本事業	勤労者福祉の充実	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 5款 1項 1目 技能功労者表彰事業(002-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成8年度~)		
事務事業の概要	優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者を2年に1度表彰する。					
根拠法令等	盛岡市技能功労者表彰要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成8年度に優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者を表彰することにより、技術尊重の気運を高めるとともに、技能者の地位の向上を図ることを目的として実施された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
技能者本人にとって励みとなり、また後継者育成にも良い影響を与えている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
被表彰者の選定にあたり、近年は候補者の職種、推薦団体が固定化している。広く候補者の掘り起しきを試み、情報収集をきめ細かに行うに十分な時間を設けるため、表彰の実施を2年に1回としている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内に居住し、市内の事業所に勤務する技能者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 技能職種団体の数	単位	団体
				B.		
				C.		
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 隔年実施のため活動せず。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者を表彰する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 被表彰候補者数	単位	人
				B. 技能功労者表彰委員会の開催		
				C. 表彰式の開催		
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	技能者の地位の向上、または若年技能者の確保、後継者の育成の推進、さらには地域経済の発展と地域産業の伸長が期待される。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 被表彰者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	働きやすくなる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	(財)盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数(単位:人)		

## 2. 事務事業の実施状況(続き)

### ⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	技能職種団体の数	団体	0	90	-	-	90		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	被表彰候補者数	人	0	6	-	-	10		年度
活動 指標B	技能功労者表彰委員会の開催	回	0	1	-	-	1		年度
活動 指標C	表彰式の開催	回	0	1	-	-	1		年度
成果 指標A	被表彰者数	人	0	6	-	-	10		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

### ⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	415	257	0	0	338		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	415	257	0	0	338	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	415	257	0	0	338		*****
	延べ業務時間数	時間	120	120			120		*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	480	480	0	0	480	0	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	895	737	0	0	818	0	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:技能者の地位向上、後継者の確保等意図が結果に結びついている。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由:盛岡市の技能者の地位向上は産業振興に繋がるため市で行う事業である。		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由:技能が優秀で他の技能者の模範となる者、後進の指導・育成に寄与した者等としており妥当である。		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:各種団体へ幅広く呼びかけをするなど被推薦者の掘り起こしが必要		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:技能者の地位向上が図られず地域産業の振興にマイナスとなる。		
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:岩手県卓越技能者表彰
公平性評価	※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？		
	統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる <input checked="" type="radio"/> できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ	
	理由:対象者の居住範囲が異なるため		
	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:必要最低限の経費で実施している。		
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:必要最低限の人数で対応しており削減は難しい。		
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:盛岡市技能功労者表彰委員会で、有識者の意見を聞いて選考しており公正・公平である。		
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:市が表彰する事業であり、受益者負担はなじまない。		

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 被表彰推薦者が減ってきており、被推薦者の掘り起こしと幅広い呼びかけを行うことが必要(推薦団体の調査、各種競技会の入賞データの収集)。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 団体によって推薦への判断や対応が異なることから、文書だけの推薦依頼に留めず、積極的に電話や訪問など取組みを行う。

#### 5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果		 <p>(2)全体総括(振り返り、反省点) 隔年実施の事業であり、22年度は実施していない。</p>
	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
今後の 方向性と 改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)		 <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止         </p> <p> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携         </p> 
	方向付けの理由と改革改善の内容 より多くの優秀な技能者を表彰するため、訪問なども含め可能な限り幅広く推薦依頼を実施する。		